

R7年11月放送分
「令和7年版防衛白書について」
(日本の防衛Q&A)
(自衛隊百科)

R7.10.28 収録

【パーソナリティー】

今月の放送は、東北防衛局の池松局長から「令和7年版防衛白書について」というテーマでお話を伺います。池松局長、よろしくお願いします。

【局長】

はい。よろしくお願いします。

【パーソナリティー】

では、早速お伺いしていきます。今、私の手元に防衛白書のパンフレットがあります。表紙のデザインが、親しみのある柔らかい印象のイラストになっていますね。

【局長】

そうですね。幅広い世代、特に若者世代に人気の高いヨシフクホノカさんにイラスト作成をお願いしました。自衛隊を身近な存在として感じていただくことを狙いとしています。

【パーソナリティー】

なるほど。

基本的なことなのですが、まず、防衛白書の目的・位置付けについて教えていただけますか？

【局長】

はい。白書は、日本の防衛の現状、課題、取組などについて理解してもらうことを目的とした、防衛省の年次報告書です。

【パーソナリティー】

年次報告書なんですね。

では、今年の白書の内容を簡単に教えていただけますか？

【局長】

はい。今年の白書は5部構成になっています。

まず、第Ⅰ部の「わが国を取り巻く安全保障環境」は、国際情勢について記述しています。厳しい情勢認識を維持し、力による一方的な現状変更などにより、国際社会は試練のときを迎え、新たな危機の時代に突入、といった認識を示しています。

【パーソナリティー】

日本の周辺でも色々なことが起こっていますよね。

【局長】

そのとおりです。第Ⅰ部では、日本周辺での、中国、北朝鮮、ロシアの軍事動向についても記述しています。

【パーソナリティー】

第Ⅱ部ではどのようなことが書かれているのでしょうか？

【局長】

第Ⅱ部は、「わが国の安全保障・防衛政策」で、基本的な政策について記述しています。もう少し具体的に言うと、国家安全保障戦略、国家防衛戦略及び防衛力整備計画のいわゆる戦略3文書、防衛力整備と予算、防衛省・自衛隊の組織、自衛隊の行動の枠組みなどについて記述しています。

【パーソナリティー】

第Ⅰ部の情勢を踏まえて、第Ⅱ部で政策について記述しているんですね。

第Ⅲ部以降はどのようなことが書かれているのでしょうか？

【局長】

第Ⅲ部から最後の第Ⅴ部までは、第Ⅰ部の情勢と第Ⅱ部の政策を受

けた具体的な取組について記述しています。

まず、第Ⅲ部では、「防衛目標を実現するための3つのアプローチ」と題して、第1章に「わが国自身の防衛体制」、第2章に「日米同盟」、第3章に「同志国などとの連携」という3つのアプローチについて説明しています。防衛のための直接的な取組を、わが国、日米、他国との連携の3つに分けて説明しているんです。

【パーソナリティー】

第Ⅳ部と第Ⅴ部には何が書かれているんでしょうか？

【局長】

第Ⅳ部と第Ⅴ部では、防衛のための基盤的な取組について説明しています。

第Ⅳ部は、「防衛力の中核である自衛隊員の能力を発揮するための基盤の強化」と題して、人的基盤の強化について紹介しています。令和6年版白書では、部の中の一つの章として記述していたものですが、人的基盤の強化に政府全体で取り組んでいることも踏まえて、部として独立させています。

【パーソナリティー】

政府全体として取り組んでいるんですね。

【局長】

はい。人の確保が極めて重要との認識の下で、手当の新設・金額引き上げ、生活・勤務環境の改善、再就職先の拡充、女性活躍の推進などに取り組んでいます。

【パーソナリティー】

第Ⅴ部ではどのようなことが書かれているのでしょうか？

【局長】

第Ⅴ部では、「防衛力を維持・強化するために必要な基盤や取組」と題して、「防衛生産・技術基盤の強化」と「地域社会や環境との共生」に関する取組などについて記述しています。

【パーソナリティー】

第Ⅴ部では、地域社会との共生についても記述されているということですが、地域社会との共生に関する取組は、東北防衛局を含む地方防衛局の主要な仕事の一つですよね。

【局長】

はい、そのとおりです。

そのため、東北防衛局では、はじめての試みとして、白書の関連部分などに基づき、地域と防衛の関わりについてのパワーポイント一枚の簡潔な資料を作成し、白書説明の際に併せて説明しているところです。

白書説明は、東北6県の250を超える自治体等に対して、各県の自衛隊地方協力本部などと協力して行っています。

この機会に、地域と防衛の関係や東北防衛局の役割についても理解を深めてもらいたいと思い、資料を作成しました。

【パーソナリティー】

その一枚紙、私も今見せていただいています。リスナーの皆さんにも内容を紹介していただけますか。

【局長】

貴重な機会を頂き、ありがとうございます。

資料では、まず、防衛省や東北防衛局の基本的考え方として、防衛について地域の理解と協力を得るとともに、地域に貢献することを明記しています。

【パーソナリティー】

理解・協力してもらっただけでなく、地域に貢献することも重要と認識されているんですね。

【局長】

はい、地域と防衛でウィン・ウィンの関係ができればと思っています。

資料では、その基本的な考え方の中での主な取組を四つ紹介しています。第一が、災害派遣、民生支援活動、第二が、連絡調整、広報、

第三が、補助金などの周辺対策事業、第四が、防衛施設の整備・管理です。

【パーソナリティー】

資料は、東北防衛局の役割についても最後に触れていますね。

【局長】

東北防衛局は、地域防衛行政の拠点であり、また、先に紹介した主な取組の第二から第四に関して直接的・中心的な役割を担っていることを説明しています。

【パーソナリティー】

主な取組の第二は連絡調整、広報となっており、その一環で白書の説明も行っているんですね。

【局長】

はい、そのとおりです。

白書や独自に作成した一枚紙が、防衛について、国民・住民の皆さんのご理解と協力を得る一助となることを願っています。

ところで、今回の白書説明に関しては、もう一つ新しい試みがあるのですが、紹介していいでしょうか？

【パーソナリティー】

もちろんです。よろしくお願いします。

【局長】

これは全国統一的な試みなのですが、自治体等の方に白書を説明する際に、防衛の入門書である「まるわかり！日本の防衛」を紹介しています。

多くの方から分かりやすいと好評を得ています。ラジオをお聞きの皆さんも目を通していただければありがたいです。

【パーソナリティー】

実際に白書や「まるわかり」を読むにはどうしたらよいのでしょうか。

【局長】

全国の書店などで、白書は約1,500円、「まるわかり」は400円で販売するほか、防衛省ホームページから、いずれも無料でダウンロードできます。白書のパンフレットも、防衛省ホームページから、無料でダウンロードできます。

【パーソナリティー】

池松局長のお話をお聞きして、白書や「まるわかり」を読みたくなくなってきました！

本日は、令和7年版防衛白書について、東北防衛局の池松局長からお話を伺いしました。池松局長、ありがとうございました。

【局長】

こちらこそ、ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆様からご意見・ご感想を募集しております。

お聴きのコミュニティ放送局までご連絡ください。